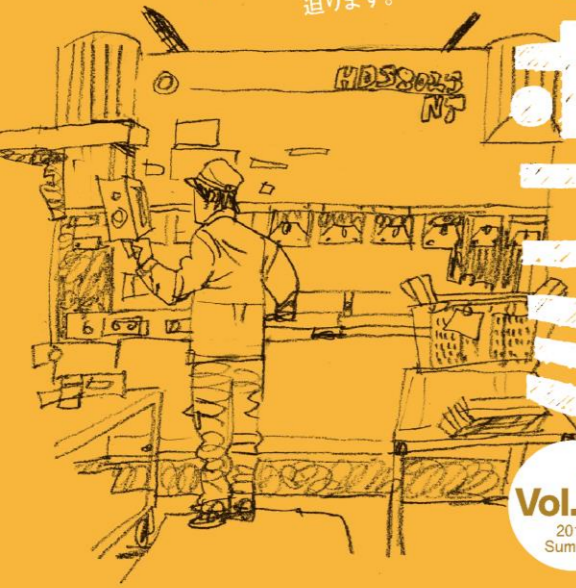


令和元年!
新時代も一ノ坪を支える
「モノづくり」の現場に
迫ります。

ツボコミ



Vol.10
2019
Summer

株式会社 一ノ坪製作所
ICHINOTSUBO MANUFACTURING CO.,LTD.
<http://www.ichinotsubo.co.jp>



Vol.1
記念すべき第1号
愛を込めて、折り畳んでポケットに入るサイズに♡(実はA4表裏のニュースレターと同じ面積なのです!)



Vol.3
IMKは
新工場が稼働し、
工場面積が
約1.5倍に

いつでもご注文お待ちしております!(福田)



『シン・ゴジラ』に出演を果たした自社オリジナル製品「KANI」シリーズの内覧会に、関西を飛び出しました(安村)



Vol.4
蒲田でも快進撃!
あのシン・ゴジラにも…



Vol.2
忍者の里、伊賀のIMK(一ノ坪三重工場)に参上!

ドイツから来たロボット「くうちゃん」は今や多品種小ロットの大波に負け、片隅に…

祝10号!

「ツボコミ」ヒストリー

一ノ坪製作所のちょっと風変わりなPRメディア「ツボコミ」は、2015年秋に創刊し、おかげさまで10号を迎えました。一ノ坪メンバーとバックナンバーをさかのぼりながら、“ツボコミのあゆみ”を振り返ってみましょう。



Vol.5
社員一同、
研修旅行で
台湾へ

今も仲間と過ごした時間が忘れられない思い出です(楠田)



Vol.10
ありがとう第10号!
令和もよろしくね♡

Vol.6

工作室じゃなくて…、
君の名は?
「THINC」完成!

これからの研究開発の拠点が誕生した記念すべき瞬間となりました(内尾)



設計から営業部へ。みなさんに喜んでいただけよう、日々奮闘しています(清原)



Vol.7

「KANI」の生みの親である
清原さんは今…



Vol.8

2018年の
ルーキーの1年後

三重工場で悪戦苦闘しながらも、塗装グループで頑張っています(櫻井)



Vol.9

これから先の
10年
向かって

総勢200名が参加し、帝国ホテル大阪にて、70周年記念式典を開催しました



バックナンバーは一ノ坪製作所で配布、もしくはホームページでも全号分閲覧できます。
<https://www.recruit-ichinotsubo.jp/>
(ウェブページ下部)



英二新聞

Vol.10

始まりは、やってみよか

「ツボコミ」も今回で10号目、10号記念というところで、この10年間を振り返ってみることにしました。10年前は僕が社長に就任した頃で、リーマンショックや東日本大震災など危機もありましたが、いろいろと取り組んできました。中でも、この「ツボコミ」のように「発信する」ということはずっと大事にしていて、社員にとって生徒手帳のような「Ichinotsubo Book」や内報など、様々なカタチで、その時々、思いを伝えてきたつもりです。

自社ブランドKANIシリーズは、その中でも最大の発信ではないかと思えます。弊社は、お得意先からの受注生産が基本のOEMが主体です。今でも生産の9割はそうです。積み上げてきた実績は同業他社には負けない自信があります。そもそも10年前、ふと純粋につくりたいものをつくってみようということになって、オリジナルのディスプレイスタンドのKANIシリーズの企画開発

が始まりました。自分たちならではあるのづくりを世に問うてみる良いチャレンジじゃないか。ただし、結果が良くても悪くても責任は全て自分たちで取るという覚悟はせなアカン。自由だけど孤独。そして不安な戦いになるかもしれない。でも「やってみよか」と始めてみた。嬉しいことに、少しずつ売上げが伸びて、今や重要な製品群の一つに成長しました。



ツボコミに感想やご意見をお寄せください。

代表取締役
一ノ坪英二

新しい番号になって、あの10年前の「やってみよか」の気持ちに立ち返って、小さなことから「やってみよか」を実践していきたいと思っています。

イチのツボ!

いの一番にお届けしたい、一ノ坪製作所の「こんなこと」。
令和元年、気持ち新たに、チャレンジし続けます!



熱い思いがほとばしる 62期方針説明会! 今期の方針は 「挑戦と改革(完全主義)」

管理部長 楠田 みゆき



2018年4月に始まった方針説明会もついに3回目を迎えました。



受賞者には
表彰状と賞金が。

「挑戦と改革(完全主義)」となり、前期中に引き続き5Rをより推進し、働きやすい環境をつくることに加え、今期はさらに「改善件数777件」が目標となりました。方針説



具体的な数値の目標があると、明確ですね。

明の後は新しい仲間を紹介や、リーダーが選んだ特に頑張った従業員やグループへの表彰もありました。
最後は、全員で夕食を食べながら、各表彰者にこれからの抱負や感想などをインタビュー。これからの目標を共有することができました!



みんな、いつもありがとうございます!
社長は嬉しいで〜



いくつかの部門で受賞者を発表。



みんなで一緒にいただいたお弁当。
エビフライが美味しかったです!

開発営業部からの お知らせ



「Kanixタンク」の「スプレイ対応」の検索機能を向上させるため、9月末を目標にホームページを更新します。もうしばらくお待ちください。

新元号「令和」は、奈良ゆかりの「万葉集」にちなんでいるそうです。令和で奈良が注目を浴びるかも? 一ノ坪もあやかりたいところです。開発営業部 北村 幸洋

電子黒板です。 みんな使ってます!

本社工場 グループリーダー
吉岡 敬史

工場内で情報を伝える手段として、新たに電子黒板が仲間入り。当日の予定や進捗状況の管理といった日々の業務をはじめ、目標の共有など、これからは様々な方を、このように活用していきます。みなさんもう一度使ってくださいね。



三重工場に
レーザー加工機導入!

三重工場に2台目のレーザー加工機を6月に導入します。ブランク工程の生産能力が2倍になり、多品種小ロットも対応出来るので、今後の活躍を期待しています!

三重工場 板金グループリーダー
吉井 彰宏



いちのつぼ



鑑 Vol.10

奈良イチの技術者と
言っても過言ではない?
ものづくりマスターを
3つも持つ男!

一ノ坪製作所の「技術」を支えるメンバーをご紹介します。「ここはオレに任せろ!」と自慢の腕前を披露してくれました。

設計開発部 のまこと 蛭本 健児

機械加工、仕上げ、板金の3つの異なる部門でものづくりマスター(熟練技能者)認定を受けているみんなの師匠。日々の業務から後継者の育成まで、毎日大忙し!



みんなの師匠的存在
趣味はゴルフとテニス。
今の課題は早く「後継者を育てる」こと



本社工場 板金グループ



本社工場 板金グループ

山内 真介

入社3年目。ギターで培った手先の器用さ・持ち前のカンのおかげを活かし、ややこしい部品や難しい図面の板金加工も任されている。本人曰く、まだまだ修業中。



本社工場 溶接グループ

堀内 翼

機械よりも「人」のスキルが必要とされるティグ溶接の専任者。脇を締め、腕を固定し、手ブレさせないことがポイント! 集中力と責任感は一歩の若手のホープ。

